

日本橋 室町 HONEN MAMPUKU JUKU

豊年萬福塾

日本橋から。日本橋へ。



塾長・小泉武夫
豊年萬福塾

第二十五回：7月25日（土）14時～16時

「浮世絵随談其の二——いわい浮世絵」

講師：新藤 茂 [Ukiyo-e Adviser・国際浮世絵学会常任理事]

夏の風物詩には欠かせない幽霊・妖怪。お馴染みの四谷怪談や、異様な姿で不思議な力を秘めた妖怪、骸骨や動物のお化けなどなど

2013年、新しいスタイルの文化情報発信型飲食店として、
日本橋の東側、川沿いに誕生した蔵造りの〈日本橋室町 豊年萬福〉。
五街道の起点・日本橋の地にふさわしく、日本全国の隠れた味や技を
飲食で楽しんでもらうのはもちろん、物販や講座などでも紹介してゆきます。

また2014年3月には、東京都が推進する社会実験の第一号となる「かわてらす」も増設され、
ユニークな存在として新しいランドマークになりつつあります。

文化情報発信の中軸として、2013年7月より開催されているのが〈日本橋室町 豊年萬福塾〉です。

小泉武夫氏を塾長に迎え、「日本橋から。日本橋へ。」をテーマに講座を展開。

開講一年目は【食の実験室 日本再発見！ 味見プロジェクト】と題し、
季節ごとに食材を取り上げ、講座に加え試食・試飲で食への理解を深めました。

二年目の今期は、日本橋とゆかりのある“地”を取り上げ、
食を中心にその地の魅力を発信する【ゆかりの地】シリーズほかにも、
江戸にまつわる食事情をさまざまな切り口で紹介・再現する講座も開催いたします。

……美人絵や名所絵だけでなく、浮世絵にはこわいものが描かれた作品が数多く存在します。そんな背筋も凍る浮世絵を、新藤茂氏に様々な切り口で解説していただきます。夏の盛りに一服の清涼剤、みなさまのご参加をお待ちしております！

●プロフィール／新藤 茂（しんどう・しげる）

1947年生まれ。東京工芸大学大学院講師。国際浮世絵学会常任理事。東京理科大学理工学部数学科卒業、専攻は集合論。専門は浮世絵、落語、歌舞伎、数学。歌舞伎座カレンダー「歌舞伎絵暦」の構成・解説を手がけている。第24回内山賞受賞（浮世絵研究）。著書に『五波亭國貞〈役者絵の世界〉』（グラフィック社）、『三代目澤村田之助（ベートル工房・共著）』『図説「見立」と「やつし」（日本文化の表現技法）』（八木書店・共著）など。



第二十五回のお申込みについて

■ 参加費 1人3000円

※参加費は当日、講演会場にて現金で頂戴いたします。

■ 募集 50名

■ 会場 豊年萬福

月刊日本橋編集部まで、

お電話でお申し込みください。

定員になり次第締切。

☎ 03-6202-1221

月刊日本橋編集部（平日10時～18時）

予告 第二十六回：8月29日（土）14時～16時

※次回の豊年萬福塾は、塾長の小泉武夫氏（発酵学者・東京農業大学名誉教授）が登場！ 詳細は8月号にてお知らせいたしますので、ご期待下さい！

日本橋室町 豊年萬福

中央区日本橋室町1-8-6
☎ 03(3277)3330



あたたかみを感じる木調の設えと、行灯ぶうの照明。壁面には浮世絵を映し、日本橋の古写真などの展示も。一階には常設のスクリーンがあり、講演会などのイベントが開催できる

一、二階共に日本橋川に面したテラス席を用意